

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「一人一人が大切にされる学校づくりをめざす」という学校教育目標をかかげ、「自己有用感の向上」「公正に個別最適化」をめざす取り組みをすすめている。

【安全・安心な教育の推進】

「一人一人が大切にされる学校」を実現するために、一人一人の子どもが学級、学校を自分の居場所だと感じ、遠慮なく自分の思いを表現できる場になるように、様々な教育活動に取り組んでいる。

令和4年度末学校生活アンケートでは、「学校生活は楽しい」「友だちと楽しく遊んだり活動したりしている」の問いに肯定的に回答した児童の割合が95%以上と大きな成果をあげることができている。

その反面、「学校のきまりを守っている」「ろう下・階段は、安全に気を付けて正しく歩いている」「正しい言葉づかいをするようにしている」については、肯定的な回答をする児童が毎年85%前後と、なかなか肯定的な回答をする割合を伸ばしていくことが難しい。

今年度は、規範意識や他者を尊重する心情のうえに「学校は楽しい」と感じているかについても大切にしていきたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「一人一人が大切にされる学校」を実現するために、一人一人の子どもに個別最適化された学びにつながるように、様々な教育活動に取り組んでいる。

ここ数年間にわたって「全国学力・学習状況調査」や「大阪府すくすくウォッチ」「大阪市学力経年調査」等の学力に関する調査において安定して高い水準の成果が出ている。そのため毎年上がり続けていくという目標設定は現実的ではないので、「大阪市学力経年調査」実施学年の4年間、現状の水準を維持しながら、向上していくことを目標として取り組んでいきたい。特に集団としての数値にばかり着目するのではなく、観点別学習評価を充実し、個の伸びに着目した即時性のある授業改善に努めていきたい。

また、現在求められている学力観に沿った指標となる「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を伸ばしていくことが必要である。

学習指導要領の学習基盤の一つ「情報活用能力」の育成についても引き続いて積極的に取り組んでいきたい。そのために、学習者用端末の積極的な活用を研究テーマとして、学校全体で継続して取り組んでいきたい。

体力については、「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」や校内調査の結果からは、全体的な測定値の低下、体力の二極化など多くの課題が表れている。このような課題を解消するために、教科体育の充実や運動遊びの活性化などに取り組んでいきたい。

また、保健指導、栄養指導、ガッツ週間の取り組みを通して児童の生活習慣の改善に向け引き続いて取り組みを進めていくことが大切である。

【学びを支える教育環境の充実】

「教員の働き方改革」については、校務支援システムや学習者用端末の活用を引き続きすすめていくことが必要である。

また、会議についても開催回数、開催時間を可能な限り削減していくように努めていきたい。

「教育DX」を推進していくために、ICT環境の整備にとどまることなく、児童の学び方や先生の働き方が生まれ変わるような方策についても抜本的な検討が必要な時期に来ていると考えている。

また、生涯学習の基礎となる読書週間の育成にも努めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を55%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も現状値以上をめざす。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 教育の質の向上を図るために学校課題や児童の情報等を教職員で情報共有するシステム（いいところみつね・心の天気・いじめアンケート・学習のふりかえり）を有効に活用していると回答する教員の割合を70%にする。
- 仕事と生活の両立の調和（ワークライフバランス）を可能とする働きやすい環境を整備し、基準2（1年間の時間外勤務時間が720時間以下。時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下。時間外勤務時間が100時間を超える月数が0。直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0）を満たす割合を50%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート「相手を思いやる言葉づかいをするようにしている」に対して肯定的回答する割合を 80%以上とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も現状値以上をめざす。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 60%以上にする。

学校園の年度目標

- 学校生活アンケート「I C T機器（パソコン・タブレット・カメラ・大型モニターなど）を使って、自分やグループの考えを伝えることができた。」に対して、肯定的回答する割合を児童 75%以上にする。
- 学校生活アンケート「学校は情報や情報手段を主体的に選択し、活用していく力（情報活用能力）の育成に努めていると思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を保護者 75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- 教育の質の向上を図るために学校課題や児童の情報等を教職員で情報共有するシステム（いいとこみつけ・心の天気・いじめアンケート・学習のふりかえり）を有効に活用していると回答する教員の割合を 60%にする。
- 仕事と生活の両立の調和（ワークライフバランス）を可能とする働きやすい環境を整備し、基準 2（1 年間の時間外勤務時間が 720 時間以下。時間外勤務時間が 45 時間超える月数 6 以下。時間外勤務時間が 100 時間を超える月数が 0。直近 2～6 か月の時間外勤務時間の平均が 80 時間を超える月数 0）を満たす割合を 40%以上にする。

学校の年度目標

- 令和 5 年度小学校学力経年調査の児童質問紙「読書は好きですか」の問いに対し、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立滝川小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・学校)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。</p> <p>○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○ 年度末の校内調査において、不登校児童在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 学校生活アンケート「相手を思いやる言葉づかいをするようにしている」に対して肯定的回答する割合を80%以上とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全・安心な教育環境の実現 基本的な方向1 2-1 道德教育の推進】他者(人・もの・できごと)を大切に、相手を思いやる言葉づかいをする。</p> <p>指標</p> <p>○ 相手を思いやる言葉遣いを意識づけるため、児童が主体となって考えた標語の掲示物を作成整備し、常設掲示を行うことを通し、他者を大切にしたい言葉遣いの意識化を図る。</p> <p>○ 学校生活アンケート「相手を思いやる言葉づかいをするようにしている」に対して肯定的回答する割合を80%以上とする。</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全・安心な教育環境の実現 基本的な方向2 2-4 インクルーシブ教育の推進】</p> <p>特別支援を要する児童一人一人のニーズに応じた支援を関係教職員・保護者と連携して実施する。</p> <p>指標</p> <p>○ 特別支援を要する児童一人ひとりのニーズに基づき、学習・生活上の合理的配慮について、年3回、全教職員が共通理解を図るための研修を行う。</p> <p>○ SKIPを活用して特別支援学級在籍児童の個別の支援計画・指導計画を作成することで、全教職員が配慮を要する児童に対する中・長期的な支援のビジョンについて把握するとともに、学期に1回関係教職員と保護者と打ち合わせをし、児童理解や支援方法を共有する。</p> <p>○ 特別支援学級在籍児童が、共に活動し学び合う場(のびのびタイム)を週1回設定し、それぞれの児童が力を発揮し育っていくことができるような学習内容を工夫する。</p>	

<p>取組内容③【施策1 安全・安心な教育環境の実現 基本的な方向2 2－3人権を尊重する教育の推進】</p> <p>幼児・児童の発達や学びの連続性をふまえ、併設幼稚園の利点を生かし、交流を推進し児童が振り返りを行えるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>○ 発達や学びの連続性を見通した学習計画を構築し、学年ごとに、以下の取り組みを行う。</p>	
1年	スマイルタイム・10月 秋みつけ学習
2年	スマイルタイム・2月 おもちゃランド（滝川っ子まつり）
3年	スマイルタイム・5月 春みつけ学習
4年	スマイルタイム・10月 うたう会
5年	スマイルタイム・7月 ふれあいプール
6年	スマイルタイム・6月 スマイルタイム DX
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立滝川小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も現状値以上をめざす。 ○ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 60%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活アンケート「ICT機器(パソコン・タブレット・カメラ・大型モニターなど)を使って、自分やグループの考えを伝えることができた。」に対して、肯定的回答する割合を児童 75%以上にする。 ○ 学校生活アンケート「学校は情報や情報手段を主体的に選択し、活用していく力(情報活用能力)の育成に努めていると思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を保護者 75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 誰一人取り残さない学力の向上 4-2 主体的で対話的で深い学びの推進】</p> <p>「情報活用能力の育成を図る授業のグランドデザイン」の研究に取り組むことで、主体的・対話的で深い学びに迫る授業スタイルを構築する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活アンケート「ICT機器(パソコン・タブレット・カメラ・大型モニターなど)を使って、自分やグループの考えを伝えることができた。」に対して、肯定的回答する割合を児童 75%以上にする。 ○ 学校生活アンケート「学校は情報や情報手段を主体的に選択し、活用していく力(情報活用能力)の育成に努めていると思いますか。」に対して、肯定的に回答する割合を保護者 75%以上にする。 	

<p>取組内容②【施策3 誰一人取り残さない学力の向上 4-2 主体的で対話的で深い学びの推進】</p> <p>観点別単元評価を充実することで、指導と評価の一体化を推進し、児童の学習改善、教員の授業改善につなげていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○教員への質問紙調査「観点別単元評価を基に児童の学習状況を把握し、授業改善に生かしたか」に対して、肯定的回答する割合を80%以上にする。</p> <p>・授業や単元全体における児童の記述や発話、実演等から、目的や課題に応じて様々な資質・能力を発揮し、課題解決する姿を見取り、毎日「いいところみつけ」にを入力する。</p> <p>・ICTを活用し、観点別単元評価表をもとにデータ分析することにより、児童の学習の状況を把握し、児童の学習改善、教員の授業改善に生かす。</p>	
<p>取組内容③【施策4 健やかな体の育成 5-1 体力・運動能力向上のための取り組みの推進】</p> <p>体育科において、考え、話し合う授業を構築し、主体的に運動量を増やす授業づくりを推進し、領域のバランスのとれた授業を実施し体力向上を目指す。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○体力テストの長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げにおいて、男女共に年度当初の数値より向上させる。(4月、11月、2月に実施)</p> <p>○体育科において、「考え、話し合う授業」の研修を実施する。(5月、9月)</p>	
<p>取組内容④【施策5 健やかな体の育成 5-2 健康教育・食育の推進】</p> <p>「早寝早起き朝ごはん」が健康の保持増進につながることをわかるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>○学校生活アンケート「早寝をしている」「早起きをしている」「朝ごはんを食べている」に対して、肯定的回答する割合を児童85%以上にする。</p> <p>・「早寝早起き朝ごはん」について家庭との連携を図る。</p> <p>① 学期に1回(6月、10月、1月)、ガッツ強調週間を設け、規則正しい生活について振り返る。(適切なスクリーンタイムを重点目標に掲げる。)</p> <p>② 生活リズムの重要性をテーマにした学校保健委員会を実施する。(2月)</p> <p>・年間指導計画に沿って「朝ごはん」に関する栄養指導、「睡眠」に関する保健指導を実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立滝川小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) ○ 教育の質の向上を図るために学校課題や児童の情報等を教職員で情報共有するシステム(いいところみつけ・心の天気・いじめアンケート・学習のふりかえり)を有効に活用していると回答する割合を60%にする。 ○ 仕事と生活の両立の調和(ワークライフバランス)を可能とする働きやすい環境を整備し、基準2(1年間の時間外勤務時間が720時間以下。時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下。時間外勤務時間が100時間を超える月数が0。直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0)を満たす割合を40%以上にする。 学校の年度目標 ○ 令和5年度小学校学力経年調査の児童質問紙「読書は好きですか」の問いに対し、肯定的に回答する児童の割合を70%以上とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 教育DXの推進 6-1 ICTを活用した教育の推進】 教育の質の向上を図るために学校課題や児童の情報等を教職員で情報共有するシステム(いいところみつけ・心の天気・いじめアンケート・学習のふりかえり)を有効に活用する。 指標 ・心の天気の入力に応じた児童への声掛けをしたり、いいところみつけを日々入力することで懇談会や成績入力で役立てたりする。それらを児童理解に活用した、というアンケートの肯定的回答の割合を60パーセント以上にする。 ・月に一回以上は、全児童の「いいところみつけ」に児童の様子を入力する。	
取組内容②【施策2 生涯学習の支援 8-3 学校図書館の活性化】 司書と連携し、学校図書館の活性化を図る。 指標 ・年度当初と年度末に学校アンケート「読書をするのが好きですか」というアンケートを実施し、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・図書館開放を週3回、学級借り出しの交換を月に1回以上行い、児童が多くの本に触れられる環境を整える。 ・図書委員会による「ミニビブリオバトル」、おすすめの本の紹介コーナー設置等の取り組みを行い、児童が今まで関心のなかった分野や新しい分野に興味をもち、本を読むことが好きになるような活動を取り入れる。	

<p>取組内容③【施策3 人材確保・育成としなやかな組織づくり 7-1 働きから改革の推進】仕事と生活の両立の調和（ワークライフバランス）を可能とする働きやすい環境を整備し、基準2を満たす割合を40%以上にする。</p>	
<p>指標</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の精選を行う。全体で共有する内容については、分掌部会で事前に十分に話し合ってから提案する。また、個人の仕事内容の精選を行う。そして、基準1（月の時間外勤務が45時間を超える月が0、尚且つ、年間時間外勤務が360時間以下）を満たす教職員の割合を40%以上（R4年度で32%、R3で23%）にする。 ・指標2に関しては70%以上達成を継続する。（R4年度は80%） 	